



近森会グループ

びるっぱ

10

Vol.279

発行 ● 2009年10月1日

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者 ● 近森正幸/事務局 ● 川添昇

近森会健康保険組合設立

限られた保険料をより効率的に使うために

近森会健康保険組合 事務局長 田村 裕彦



県内では30年ぶりの設立

10月1日より近森会健康保険組合の設立が認可され、正式に発足いたしました。今日まで数々の課題を乗り越え、紆余曲折があり3年もの時間がかかってしまい、各方面にはずいぶんご心配をおかけしたと思います。

健康保険組合は大企業のものというイメージがあるかも知れませんが、条件としては単一組合の場合700名以上の職員がいれば規模としては可能です。県外には何万人という職員を抱える大企業もありますので、当組合は規模は小さなものと言えます。県内企業では四国銀行、高知銀行、カメラのキタムラ(株式会社キタムラ)に続き4番目の組合となりますが、高知での設立は実に30年ぶりのことだそうです。

健康保険組合の活動内容

さて、この組合がどのような活動をするか、職員にとってどのような影響があるのかをまず説明したいと思います。

健康保険組合は「保険者」であるため、基本的には皆さんの健康保険にかかる業務を行なうこととなります。組合員から保険料を徴収し、それを組合員やその被扶養者に対し医療費の支払いや各種給付に使っていくというもので、運営業績が良ければ組合員の健康増進に向けてそれを還元していくこともできます。

具体的な業務としては、健康保険証の発行、被扶養者の認定、医療費の支払い、傷病手当金、出産一時金等の支払い、健康保険料の徴収、定期的な医療費通知のほか、組合員やその家族に対し様々な形で健康増進を図っていくという大きな目標があります。

なかでも保健事業については健保組合の運営にも大きな影響があり、限られた

保険料のなか医療費は効率的に使うことにより健全な運営が可能になります。協会健保の保険料は従来、給与額(平均標準報酬月額)の $\frac{82}{1000}$ で労使折半ですが、高知県では9月から $\frac{82.1}{1000}$ となり、その後も段階的に上昇していくものと思われます。一方、健康保険組合では保険料率を独自に設定できますので、10月の発足当初は8月までの協会健保と同じ $\frac{82}{1000}$ で始めますが、収支にある程度余裕があれば厚生労働省に許可を得たうえで将来的には下げることも可能となるということです。

難産の末のヨチヨチ歩きですが…

組合事務所は組合員の皆さんの保険情

報などセンシティブな個人情報が集積する場でもありますので、セキュリティについては入退室管理、書類の保管方法、システムのアクセス権など、特に厳重に取り扱わなくてはなりません。組合員からの給付相談なども組合事務所で受けることとなりますので、特に用件のない場合は入室をご遠慮いただくこととなります。また組合職員も席を外すときには施錠して出るようになりますので、宜しくお願いします。

難産のうえやっとなつて生まれたヨチヨチ歩きの健康保険組合ですが、どうぞ皆さん温かく見守ってください。

ディープな京都の夏



近森 正幸

前回はひじ脇川の鵜飼いを楽しんだ「十日会」の面々で、今年の夏は最も京都らしい京都を味わうことになった。

地元の方に紹介していただいて、高台寺前の石堀小路にある「竹中」という京料理のお店に向かった。京都らしい落ち着いた雰囲気のお店で、料理は明石の鯛の洗い、琵琶湖に注ぐ安曇川の天然鯛の焼き物、白味噌と鯨の脂身、鰻寿司など、夏の京料理のエッセンスを味わった。

夕食の後、「池田屋」というお茶屋さんに伺った。お茶屋さんのある祇園

は八坂神社を始め、師走の顔見世興行で知られる南座や秀吉と北の政所を祀る高台寺、少し南に行けば清水寺など、古い京都の町並みが残った、もっとも京都らしい地域である。

お茶屋さんでは、大先輩の田中先生ご夫妻が30数年もお付き合いのある女将さんの計らいで、いま売れっ子の舞妓さんや芸子さんを4人も呼んでいただいた。祇園の芸者さんだけあって、会話は品があって楽しく、伝統のある井上流の艶のある踊りと地方の芸を、しみじみと堪能した。

翌日は京都駅の伊勢丹11階にある「和久傳」で昼食をいただき、お開きとなった。ここでは、鱸ますの薄作り、鰻と外国産松茸の椀、安曇川の養殖鮎の焼き物、和歌山の鯛の黒寿司といった、8月の季節の献立であった。

このお店はこれまででも利用したことがあるが、デパートの食堂街にあって安い予算で、伝統的な京料理屋さんには負けない、すばらしい料理を味わえるのは、貴重な存在だといえる。

(理事長・ちかもり まさゆき)

CVIT (日本心血管インターベンション治療学会) 地方会を主催 過去最高の参加をいただき、活発に論議

近森病院 循環器科 部長 川井和哉



開会の挨拶に立つ川井大会長



立て看板の脇で参加者集合！

再び大会長の重任をいただき…
この度、第16回日本心血管インターベンション治療学会中国・四国合同地方会を9月5日に岡山コンベンションセンターで開催させていただきました。

7年前の第9回地方会では、当院の浜重直久副院長が大会長を務めました。同じ施設で2回の学会を主催するのは中国四国地方会でも初めてのことで、当院の医療が、県内のみならず県外でも高く評価されていることの証しであり、たいへん光栄に思います。

30年以上の歴史を重ね…
冠動脈インターベンション治療 (PCI) が始まり30年以上が経過しました。この間、問題の克服と新たな挑戦を繰り返しながら、技術・器具ともに著しい進歩

を遂げてきました。最近では、**薬剤溶出性ステント (DES)** が登場し再狭窄の問題は解決するかに見えたが、遅発性血栓症などの新たな問題も明らかになってきています。今年から第2世代のDESが本邦でも使用できるようになりましたが、いまだに様々な問題点や疑問点を抱えながらPCIを施行しているのが現状です。

今回はメディカル78演題、コ・メディカル12演題と多数の応募をいただきました。特別講演は、小倉記念病院の横井宏佳先生にこれからのCVITへの期待について熱く語っていただきました。

地方会ならではの顔の見える関係に…
また、初めての試みとしてコ・メディカル教育セッション、ランチョンセミナー、昨年の優秀演題の表彰式を企画

力強く未来へ向けてこう在りたい！と、ランチョンセミナーで中村正人先生
しました。たいへん好評でたくさんのお褒めの言葉をいただきました。338名という過去最高の参加があり、1日を通し活発な討論が行われました。地方会ならではの顔の見える関係の構築や今後の診療に役立つ討論が多く、有意義な会になったと喜んでます。

当日は、当院から演者、座長をはじめ30名以上もの参加がありました。驚きとともに、とてもうれしく、心強く、誇らしく思いました。盛会となったのも当院スタッフの強力なサポートのおかげと心から感謝しています。大会長として楽しく充実した一日を過ごさせてもらい、元気をいただきました。これからも、信頼される循環器医療を実践していきますので、よろしくをお願いします。

当日は、当院から演者、座長をはじめ30名以上もの参加がありました。驚きとともに、とてもうれしく、心強く、誇らしく思いました。盛会となったのも当院スタッフの強力なサポートのおかげと心から感謝しています。大会長として楽しく充実した一日を過ごさせてもらい、元気をいただきました。これからも、信頼される循環器医療を実践していきますので、よろしくをお願いします。

お知らせ
近森病院 公開県民講座 入場無料 申込不要
ここまで見えるぞ!
画像診断 最新情報
近森病院画像診断センターで行っている X線 (CT)、磁石と電波 (MRI)、超音波 (US) などの最新画像診断をわかりやすく解説します。あっと驚く画像をご期待ください。

10月31日 土曜日 14時から 県民文化ホール (オレンジ) 地域医療連携室

第58回日本形成外科学会中国・四国支部学術集会を主催 形成外科の幅広い可能性に焦点を当て

近森病院 形成外科 部長 赤松 順

9月13日 (日) 高知県民文化ホールで



挨拶を行なう赤松会長



第58回 日本形成外科学会中国・四国支部学術集会
会長 近森病院 形成外科 赤松 順 2009年9月13日 高知県民文化ホール

日本形成外科学会は、私が生まれた頃に創設された学会です。中国四国支部は、28年前に関西支部より独立し、地方会より上位の学会として支部学術集会を年2回開催しています。大学や国公立病院に準ずる病院の主催で、専門医認定施設32施設の形成外科代表責任者が会長を歴任し、民間病院では、21年前に松山市の野本記念病院、15年前に広島市で広島大学のトップで活躍された先生が開業先で開催されて以来となりました。

応募演題数67演題と、過去10回の平均演題数44.3演題の1.5倍強。参加人数161名とたいへん盛況でした。

ランチョンセミナーでは「形成外科と異分野コラボレーション～MDCT・耳介バイオメトリクス・臓器凍結・妊孕性再建 etc～」と題して、東京大学より卒業8年目の若手形成外科医・三原誠先生を講師に迎え、最先端の医療について講



ご講演中の三原誠先生

演をいただき、会員一同今後の形成外科の幅広い可能性に感心させられました。

近森病院に赴任し約10年。継続して学会に参加、演題発表の機会をいただき、その活動を評価して下さる形成外科学会員の先生方がいて、また全国版頼れる民間病院ベストランキング29位に位置する近森病院にあればこそ思ってもみなかった会長を務めることができました。

スタッフは杉田事務局長を筆頭に2年前より準備を始め、管理部や診療部門職員にも前日午後より、当日は早朝から夜間まで長時間に亘り運営にご協力いただきました。無事学会を開催できたことを深く感謝致します。有難うございました。

第59回 地域医療講演会 9月11日 (金) ホテルサンルート高知で

急性大動脈症候群患者を救うためには？

一病診連携とチーム医療の重要性を改めて

ハートセンター・心臓血管外科部長 入江博之



「を救うためには？」
連携とチーム医療！
血管外科部長 山中一朗先生

今回は天理よろづ相談所病院の山中一朗先生においでいただきました。先生は以前は京都武田病院において心臓血管外科部長を務めておられました。ご存じの通り、武田病院は急性期病院として大変アクティブで、診療形態として当院と近いものがありました。多くの緊急患者さんを含む治療で実績を積み、天理よろづ相談所病院に転任されました。

今回は昼間に当院で弓部大動脈全置換術という大変大きな手術をいただき、夕方からご講演という日程でした。

手術は当院で行なっている手技とほぼ同様な手順で行われ、順調に問題なく終了致しました。その後のご講演の内容は急性大動脈症候群、とくに胸部大動脈瘤の治療についてでした。

単に、手術手技的な内容にとどまら

ず連携する病院の先生方の啓蒙活動、ならびにスタッフのトレーニングといった幅広い意味での治療レベル向上についてのお話でした。講演の最後では腹部大動脈瘤破裂の生々しいビデオをご供覧いただきました。お腹の中が文字通り血の海になるなかで緊急手術を行ない、救命したという大変印象深いものでした。終了後の質疑応答も時間を超えてしまうほどでした。合計83名の聴衆で満席となりました。大変有意義な地域医療講演会であったと思います。

献血 御礼
平成21年8月27日 (木) 正午から17時まで近森病院玄関ホールで献血を行いました。200mlを24名、400mlを38名、不採血者27名の合計89名にご協力いただきました。ありがとうございました。

聴診器と私

看護師としてこの病院に就職し十数年になります。看護学校時代に実習用として貸し出されたそれと違い、自分専用のお気に入りの色の聴診器を手にしてすこし大人になったような気持ちになったものでした。

血圧を測る時や呼吸の音など、聴診器を通してさまざまな音との出会いがあり、聞こえてよかったとほっとすること、どきとすることなど一喜一憂。

先日、職場体験で高校生の女の子が病棟を訪問してくれましたが、自らの血圧が「トントン」と音で聞こえたときのキラキラとした瞳を見て、看護学生時代、同じように一生懸命その小さな音に耳を澄まし聞こえたときの感動を思い出しました。

医師・看護師以外のスタッフも聴診器

いのちの小さな音に

近森病院 4階東病棟 看護師長 山脇 寛子



を持つこのごろ、専門職として聴診器を通して音が聞こえること、または聞こえないことが何を意味するのか考え行動するとき、この耳と聴診器にずっと責任を重く感じることもありますが、初心を忘れることなく、いのちの小さな音に耳を傾けていかなければと思います。

近森病院初期研修医1期生の

英語の原著論文が

Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery

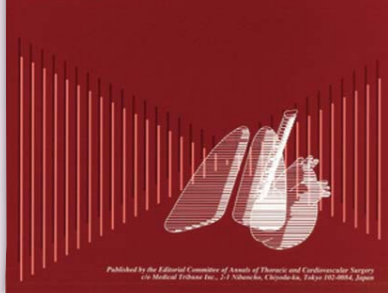
Vol.15, No.4 August 2009

に掲載されました!

初期研修で英語の、しかも原著論文が書けるのは非常に珍しいのです!

Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery

Official Journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons
Volume 15 Number 4 August 2009



近森病院では、初期臨床研修医の1期生として2年間お世話になりました。

この度、近森病院時代に執筆した原著論文がついに雑誌掲載されました。内容は、透析患者さんの冠動脈バイパス術後早期の回復について書いたものです。

2年間の初期研修が終わりに近づいたころ、入江博之部長から「論文、書いてみる?」との言葉をいただきました。面白そうだなあと、思いました。「はい!」と取りかかりましたが、初めての論文であり、書き方を全く知らない!!...本当にどうなるかと思いましたが、入江部長と池淵正彦先生の超!根気強い指導により無事に完成できました。

論文は採用されるまでだけでなく、採用されてから掲載までにも1年以上かかりましたから、本当に長かったです。でも、初期研修医時代に英語の原著論文を書く機会を与えていただいたことは、大変良い経験となりました。ありがとうございました。

医師5年目となり、病院も3カ所目となりました。近森病院では、本当に自由にいろいろなことを経験させてもらったと思います。これからも、負けないうらい充実したトレーニングができるよう、頑張ります!

長期研修報告 ● 沖縄県浦添総合病院へ ● 2008年9月から1年

浦添総合病院は総病床数302床を有する24時間救急病院で、地域医療支援病院、臨床研修指定病院として地域の中核病院の役割を担っています。

※診療科:内科、循環器科、心臓血管外科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、肛門科、整形外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、アレルギー科、リハビリテーション科、呼吸器外科、歯科、歯科口腔外科、神経内科です。

沖縄県浦添総合病院の研修を終えて

長期研修を体験する意義

HCU (ハイケアユニット/集中と一般の中間病棟) 看護師 香川 美幸

もちろん真ん中

① 全ての医療の基本とは

私は浦添総合病院ではICUに配属され研修をさせていただいたのですが、まずコミュニケーションの重要性を実感しました。

ある本には「コミュニケーションは全ての医療の基本である」とありますが、看護師の言葉一つで円滑な人間関係を築いたり、また逆に信頼関係をなくしたりするきっかけとなってしまうという、言葉の持つ重さの意味を改めて考えさせられました。

ICUには話すこともできずいろいろな機器が装着され、看護師である私も初めは見たこともない機器類に圧倒されるような患者さんが入院されていたのですが、ご家族にとっては更に不安があったことでしょう。

② 同等な、患者さんとご家族の看護

ここではご家族が面会に来られたら積極的に声をかけ、気になることがないか尋ねていました。看護師は家族の思いを聞くことで、患者さんの病態だけでなく、この患者さんにいま自分たちができる看護を考えていました。患者さんにとって、ご家族の援助は大切な存在であり、だからこそ患者さんとご家族の看護は同等であり、とても重要であると考えさせられました。

③ チームのゴールの統一!!

また今回の研修ではチーム医療の素晴らしさ、大切さを実感することができました。毎日カンファレンスを持ち、情報や問題を出し合うのですが、時にはDrも参加しお互いに積極的に意見を交わしていました。

そして患者さんやご家族のQOLの向上を考え、よりよい看護が行えるようにチームのゴールを統一していました。各専門分野の役割がきちんと果たされ連携が保たれることで、医療者と患者さん・ご家族との関係が良くなり、信頼関係を深めていくことに繋がって



いくんだなと考えさせられました。

今回の研修では新しい知識を得ると共に自分自身を振り返る良い機会となりました。貴重な機会を与えていただき深く感謝いたします。今回の研修で学んだことをこれからの看護にいかせられるように頑張っていきたいと思えます。

新医療安全シリーズ⑨

新人看護師 KYT 研修

医療安全担当看護師長 田村 一恵

新人職員が就職して半年が経ち、配属先での業務や先輩看護師、コ・メディカルとの関係にも少し硬さが和らいできたように感じる。



入職時から行われている新人研修のなかに医療安全KYT (K:キケン、Y:予知、T:トング) 研修が組み込まれており、今年は9月4日に44名が参加し、活発な意見が飛び交う研修となった。

今回の研修に参加したことで「医療安全」に対する意識が高まり、自部署でも常に危険を予測しながら「患者さんの安全を第一」に関わっていききたい、意見交換から自身が思いつかなかった視点を学べたという研修の感想もあった。医療安全委員会としても新人看護師の皆さんの安全への取り組みに期待しております。

第二分院 病院機能評価 (Ver 5.0) 認定



夕方、「集まれるスタッフで記念撮影しましょう!」と、認定証を眺めて上機嫌の皆さん。認定証を持つのは和田事務長

第二分院 事務長 和田 廣政

6月に日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、待ちわびた認定証が9月4日付で発行されました。2004年に初めて受審した際はたくさんのマニュアル作りに追われたいへん忙しい思いをしましたが、今回はマニュアルの見直しや整理など、病院を隅々までチェックし直す良い機会となりました。

受審当日は機構から派遣された評価

調査者に病院の良い点、悪い点等を直接聞くことができ、改善の手がかりをいただきました。

これからも、より良い医療を提供することができるよう改善を続けていきたいと思えます。

第4回 ムービーナイト



TOHO シネマズ高知の一番大きいスクリーンで映画『ナイトミュージアム2』が上映されました。恒例となっているジャンケン大会では映画の無料のペアチケット

が10人に当たり、ご家族連れや大勢の子どもさんたちにも喜ばれました。楽しい企画で参加の316人の皆さんにはしっかり羽を伸ばしていただけたようです。

新シリーズ♥♥♥ 管理部長のこだわり ヘルシー美食

先日、敬愛する建築家と視察旅行で2泊3日間東京ですごした。久しぶりに夜昼夜を江戸前で堪能したが、2日続けて体重計に乗らなかった報いはすぐ来てしまった。



川添 昇

今回の食材のグリーンアスパラガスは春が旬だが年中出回っている。

それを脂肪を除いた豚肉のうす切りで巻いて、ノンオイルで焼くという定番ヘルシーメニューである。ペーコンを使うと、より濃厚になる。

アスパラの豚肉巻き



画 臨床栄養部科長 吉田 妃佐

〈材料:一人前〉

細めのアスパラガス 3本
うす切りの豚肉 6枚

〈作る〉

細めのアスパラガスをさっと湯がき、冷水でさまして水切りし、うす切りの豚肉の幅の長さに切り、3本を豚肉で巻き付け、塩・コショウを適宜し、ノンオイルのフライパンで焼く。

〈食べる〉

焼酎には豚肉が良く合うと思う。ポン酢で食べてもいいし、レモン汁をかけてもいい。

前の日から冷蔵庫に作り置きしていた芋焼酎の水割り、徳利に好みの濃さで一晩寝かせると、しっとり馴染んだステキな按配となる。

鹿児島から焼酎とともに帰ってきた事務長仲間のH田氏と秋の夜長に飲みたいと思っている。

急性期 リハビリテーションシリーズ その3 整形疾患のリハビリテーション

やはり、可能な限り、早期から

近森病院 理学療法科主任 刈谷 眞美

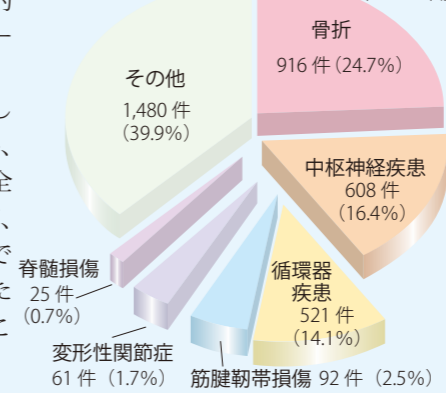


整形外科のリハビリテーションの対象としては、主な疾患として骨折、腱・靭帯損傷、変形性関節症が挙げられます。そのなかで最も多い骨折において代表的なものは、大腿骨頸部骨折、脊柱圧迫骨折、橈骨(手首)遠位端骨折等で、いずれも原因の多くが生活場面での転倒であり、対象は高齢者が大半を占める状況となっています。そのため、寝たきり等の廃用症候群を予防する目的で、可能な限り早期からリハビリテーションを実施することが重要です。

整形外科疾患の理学療法の目的として、①拘縮の予防と関節稼動域の改善、②筋萎縮の予防、③疼痛の軽減、④全身機能の維持・向上が挙げられますが、急性期ではそれらに加えて、外傷等で突然に身体の不自由を余儀なくされた患者さんへの精神的な支援も欠かすことができません。

今年7月の理学療法週間のポスターには、昨年腱断裂を受傷したあるサッカー選手が起用されており、写真の横には「支えるのではない、共に闘うのだ」と書かれてあるのがとても印象的でした。私も患者さんの身体・精神的な痛みと共に、一緒に前に進めたらと思っています。

理学療法実施の入院患者・疾患内訳 (2008年度)



乞 熱 烈 応 援

このたび昇格いたしました。皆さま、引き立てをどうかよろしくお願い致します♥♥♥♥♥

近森病院 神経内科科長 葛目大輔

本年6月1日付けで神経内科科長として赴任しました。好きな書物に『クラウゼヴィッツ戦争論』があります。「医療」を「戦争」に喩えるのは不謹慎かもしれませんが、戦争を遂行する上で、「戦術」「戦略」「兵站」の項目が挙げられています。

これらを日々の診療に喩えるならば、入院加療（戦術）を行い、外来診療（戦略）に繋げていくことですが、大事な「兵站」＝神経内科医師が足りません。「兵站（医師）」がないと神経内科診療の継続ができません。



日々の診療も頑張りつつ、それと同時に次世代を担う神経内科医師の育成に力を注いでいく所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

近森リハビリテーション病院 事務長 内田陽子

近森リハビリテーション病院医局秘書として勤務し10年目になります。医局の先生方、看護部長、リハ部長を始め、周りのみなさんのおかげで、仕事の楽しさ、リハビリテーションの素晴らしさを学びました。また、スタッフの患者さんを良くするという目標へ向かう姿勢、リハビリテーションへの熱い思いを知り、素晴らしい職場を得たと思っています。先生方が医局秘書としての役割、その意義を明確にしてくださり、リハ病院の一員としての誇りを持ち、職場大好きで楽しく仕事を続けることができました。



このたび、事務長を拝命しました。その責任に身の引き締まる思いです。気負わず、でも全力で責任を全うしたいと思います。どうかよろしくお願い致します。

看護部 キラリと光る看護 Part 2

近森会グループ 統括看護部長 梶原和歌



毎年行われている災害訓練のシナリオづくりや準備には大変なエネルギーを要しています。

今年も若いスタッフの多い災害対策小委員会（24名中看護師16名）のメンバーが熱心に設定してくれました。

私はこれまで、本部要員として登院してきたスタッフの把握や役割分担、情報の収集・整理・伝達などの作業をしてきましたが、今年、はじめて模擬患者としてボランティアの看護学校学生達の中に紛れ込み、違う視点で災害訓練を眺めました。模擬患者担当のナースは学生たちにオリエンテーションをした後、手際よくムラージュ作り（傷口などのメーキャップ）を始めています。



私に配られた手づくりカードには絵入りで「震災にあった列車の中で転倒・左肩骨折・胸部痛」とあり、裏をみると血圧100-40、脈60、意識レベル清明と記されています。演技のあとトリアージで軽症エリアに運ばれましたが、レントゲンと心電図の指示を医師からもらうまでのわずか10分が30分以上に感じられたり、それからどうしたらよいか分からない間、見捨てられたような寂しさや、取り合ってもらえないことへの怒りの感情がこみ上げたり、放射線科前でちょっとやさしく椅子をあてがわれたりすると、パッと気分が和らいだり、という風に平素外来で長く待ってられる患者さんの



気持ちの一端を理解したことでした。小委員会のスタッフは四国地方DMAT連絡協議会の訓練に29名が参加、高知県総合防災訓練、高知市総合防災訓練にも参加し実践の場体験をして、院内エマルゴ事前学習会の企画、エマルゴ実施訓練などを経て、なんだか自信と余裕たっぷりに見えました。上から指示をされず、却って生き生きと活動できたのは“実践の積み重ねが力”になっているのだと思いました。今後さらに「組織化・リーダーシップ」の力を身に付けると大災害にも対応できるのではないのでしょうか。エキストラのボランティアさんありがとうございました。

実践の積み重ね力

ひとのペースに合わせられる幸せ

定年を迎えたお勤め最後の日、病棟スタッフと。梶原統括看護部長に贈られた記念のブーケをもって、ニコリ



子育ても一段落し近所のパート勤めから、長く続けられる仕事をと、近森病院へ助手で入って16年2ヵ月。このたび無事定年を迎えた。長続きのいちばんの秘訣は、「仕事が好きで、ここが一番！いつも思えたこと」だとか。

自分のペースは二の次として、つねに誰かのペースに合わせる事が求められる助手の仕事が性に合ったというのか、一日はアツという間に過ぎたようで、ただただ患者さんやスタッフの動きを見守っているうちに月日が流れたような印象が強い、という。

自分がどう動いたら周りのスタッフが次の仕事に移りやすいかを考えて、無駄のないように動くコツは、助手の大先輩の益邦江さんや佐竹さんから教わった。出過ぎず、かといって引込み過ぎず、ほどほどの具合で頑張りたい！と、自分で自分にエールを送る毎日が楽しかった。いつどこに居てもニコニコと穏やかな表情が印象的だったのは、そんな風に中山さんは自分自身を励ますのが

上手だったのだろう。

愛媛県出身だが生まれは両親の疎開先の明石市で、高知県には結婚をきっかけに移り住んだ。女性が控えめに思えた愛媛県に比べて、高知の女性はどんだん

前へ出る積極性がすごい、と感じているが、そんな尊敬すべき女性が周りに多かったことも楽しく仕事を続けられた要因だったようだ。

中山さん、長らくお世話になりました。

リレーエッセイ

近森病院 薬剤部 毛利 良子

今年の夏の出来事

8月のある夜、家の網戸にぶつかってきた1匹の昆虫。よく見ると、オスのカブト虫が1匹、我が家の明かりを頼りに迷い込んできました。私の父がちょうどいたので採ってもらい、虫かごへ。子どもたちはもちろん大喜びでしたが、誰よりも一番喜んでしたのはなんと主人！写メールを送ると、仕事もそっこのけで、飼育かごと餌を買って帰ってきました。

それから数日後、私の実家の四万十町でメスのカブト虫が2匹採れ、現在3匹飼育しています。子どもたちは毎日朝と晩にカブト虫に「行って来ます」「ただいま」と声をかけたり、餌を食べるカブト虫に「おいしい？」と聞いたり。

見ていて微笑ましいのですが、お姉ちゃんも弟も触ることは恐くてできない様子。弟の方は興味はあるけども、かご

から出すと近くで見ているけど触れず、腰は逃げ気味。お姉ちゃんは虫が全くダメなので、かごから出した時には遠くまで逃げています。でも、初めて昆虫を飼育するので、子どもたちにとっていい経験になりそうです。実は私も毎日かごをのぞいては、カブト虫の様子を観察していますが、ちょっと癒される瞬間です。

今、交尾をしそうなので、子どもができるかな～、うまく育てば来年も楽しめるかも～とちょっと楽しみです。



三人三様それぞれの夏...

画像診断センター 第1回勉強会

画像診断部 久保行広

7月30日(木)に近畿大学の伊藤哲夫教授(右)をお迎えして、「放射線の人体への影響—基礎篇」についてご講演をいただきました。放射線の基礎や普段聞かれない原発の話、「意外に放射線ってお肌に良い？」なんて興味深い話もありました。

今後とも勉強会を重ねていきたいと思っています。放射線に関する質問も気軽に画像診断部にお尋ね下さい！

理事長の「今月のことば」が、10年ぶりに単行本に！



ワインと日曜日とビリヤード

近森 正幸

料理や旅や陶器の話、ときどき医療の話も織り交ぜながら、この10年がよみがえります。お茶のおともやお休みのひととき、ぜひどうぞ。
「今月のことば」だけを通して読んでみて、きっと新しい世界が広がります。それに、毎日けっこう「ハッピー」なんだあ、実感できるかも知れません！

● 10月の歳時記 ●



石路 つわぶき

キク科の多年草

文●内科秘書 松居 朋世

ツワブキの名は、その葉がフキの葉に似ており艶があることから、艶がある葉の路、「艶葉路」が転じたと言われている。わが家では、シャキシャキして歯ごたえがあるのでフキより好まれ、春先には煮物や炒め物にしてよく食べる。秋から冬にかけて黄色い花をつけるそうだが、味は鮮明に覚えていても、花の方は見たことあるような、ないような…。



画●総務課
公文 幸子



図書室便り

(2009年8月受入分)

- ・OS NOW Instrucion 整形外科手術の新標準 11 肩・肘のスポーツ障害 スポーツ寿命を延ばすための手技のコツ / 金谷文則 (他編集)
- ・最新整形外科学大系 別巻 総索引・総目次 / 越智隆弘 (総編集)
- ・ベッドサイドの神経の診かた 改訂16版 / 田崎義昭 (他著)
- ・脳脊髄のMRI 第2版 / 細矢貴亮 (他編集)
- ・ヒト移植臓器拒絶反応の病理組織診断基準 鑑別診断と生検標本の取扱い (図譜) 2009年3月【第2版】 / 日本移植学会・日本病理学会 (編集)
- ・膵癌取扱い規約 2009年7月 (第6版) / 日本膵臓学会 (編集)
- ・外科の「常識」 - 素朴な疑問 50 / 安達祥祐 (編集)
- ・研修医のための整形外科診療これだけは! / 高橋正明 (編集)
- ・医学英単語 リズムでしみこむ、ゴカンでひらめく / 富田りか (監修)
- ・平成21年度健康保険組合予算編成の手引 / 法研 (編集)

《寄贈本》

- ・作法としての生老病死 みんなで日本の医療をよくするために / 岡田玲一郎
- ・みんなでファイト! つながる人の輪、心の輪 / 上田真弓
- ・平成19~20年度 初期臨床研修医によるCPCレポート集 第3巻 (症例14~20) 2009 / 近森病院研修管理委員会、近森病院病理部 (編集)

《別冊・増刊号》

- ・別冊 医学のあゆみ 大動脈瘤 基礎と臨床 / 高本真一 (編集)

《DVD・ビデオ》

- ・画像で見る冠動脈疾患 / 画像と呼吸音で学ぶ! 胸部X線・CTかんたん読影トレーニング体験版 (呼吸器&循環器ケア Vol.9 No.3 付録) / 岩崎孝一郎 (他監修)

近森会グループ	
外来患者数	17,161人
新入院患者数	796人
退院患者数	802人
近森病院	
平均在院日数	15.39日
地域医療支援病院紹介率	85.87%
救急車搬入件数	431件
うち入院件数	214件
手術件数	401件
うち手術室実施	280件
うち全身麻酔件数	155件

2009年8月の診療数

企画情報室

● 編集室通信 ●

▼引越しをしました。以前は車通勤だったので一日歩く距離はビックリするほど少なかった。新居は病院から歩いて10分ということもあり、全く車を使わない生活になった。これでシェイプアップ間違いなし!かも? (奥田)